令和４年度　全史料協関東部会第３１６回定例研究会

***戦争体験をめぐる記録と記憶の継承を考える***

アジア太平洋戦争末期に関東を含む日本各地で行われた空襲、その対応である防空訓練や疎開については、体験者の減少と高齢化が進んでおり、記録と記憶の継承が大きな課題となっている。本研究会ではこの課題について、歴史資料の保存と利活用を図るという当会の目的に引きつけながら考えてみたい。

まず強調しておきたいのが、戦争体験の記録と記憶を継承する活動は、もっぱら体験者自身や在野の人々によって担われてきたということである。こうした活動を通じて作成された、記憶を有形化した文章、録音、録画、絵画は、二次的に作られた資料ではあるが、一次資料に匹敵する重要な歴史的価値を持っている。一方で、こうした二次的な資料の裏づけを行うには公文書の存在が欠かせないが、記憶を有形化した資料と公文書とを有機的に結びつけていく作業はまだまだ途上である。

そこで本研究会では、東京大空襲・戦災資料センターとすみだ郷土文化資料館で、戦争体験に関する調査研究と展示を行ってきた石橋星志氏より、これまでの取り組みについて報告いただく。また、東京都公文書館の小野美里氏より、同館で戦前期から占領期にかけての公文書がどのように受け継がれてきたのか（あるいは受け継がれてこなかったのか）について報告いただく。戦争や戦後の混乱で公文書が十分に残っている時期ではないが、両報告を突きあわせることで、公文書館にある資料が体験者の記録や記憶の補強にどのように寄与できるか、史料保存機関全体としてどのように戦争体験の記録と記憶の継承にコミットできるかを考える場としたい。

１　日　時　　令和５年２月２２日（水）

　　　　　　　１４時００分から１６時００分まで（受付開始１３時３０分）

２　方　法　　Zoomミーティングを利用したオンライン開催　定員９０名（先着順）

３　日　程　 ・14：00 開会挨拶：山田恵（関東部会会長／埼玉県立文書館館長）

　　　　　　　・14：05 趣旨説明：青木然（関東部会運営委員/たばこと塩の博物館）

　　　　　　　・14：10 報告：石橋星志 様「証言と資料を基にした東京大空襲の研究（仮）」

　　　　　　　　　　　　（東京大空襲・戦災資料センター/すみだ郷土文化資料館）

　　　　　　　・14：40 報告：小野美里 様「戦時期東京都における文書の継承について（仮）」

　　　　　　　　　　　 （東京都公文書館）

　　　　　　　・15：10 休憩（質疑・意見募集と整理）

　　　　　　　・15：30 質疑応答・討論（司会：青木然）

　　　　　　　・16：00 次回研究会予告等事務連絡ののち閉会

４　申込み　　別紙申込書に必要事項を御記入の上、２月６日（月）までに下記事務局あて電子メールにてお申し込みください。　その際、ZoomエントリーID返信用のメールアドレスを必ず御記入ください。

５　その他　・ オンラインでの開催にあたり、録音・録画，荒らし行為を禁止いたします。

　　　　　　・ 主催者側は、本会の記録・保存のために録画いたします。

　　　　　　・ 参加者は、カメラをOFF、マイクをミュートに設定してください。

全史料協関東部会事務局（埼玉県立文書館内）

　埼玉県さいたま市浦和区高砂4-3-18

　TEL：048-865-0112（代表）

　E-mail：jimukyoku@jsai-kanto.jp